

平成26年度
ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～KAKENHI
(研究成果の社会還元・普及事業)

実施報告書

HT26041

光の描材・ライトストリークで、光の絵を描いたり、光の混色をつくってみよう



開催日：平成26年8月9日(土)

実施機関：会津大学短期大学部
(実施場所) (体育館)

実施代表者：高橋延昌
(所属・職名) (産業情報学科デザイン情報
コース・准教授)

受講生：小学生13名＋中学生4名＝計
17名

関連 URL：

【実施内容】

プログラムの工夫点

プログラムの実施に際して、受講者の知的好奇心を高めるために次の①～⑤の工夫をした。

- ①企業の協賛を得て、最新機器(セグウェイおよびハイテクLED自転車)を展示した。受講者は受付から開会までの待ち時間や休憩時間を利用し、知的好奇心を高める最新機器にも触れることができた。
- ②異学年のグループによる協同的活動を基盤にプログラムを展開した。
- ③補助員として会津大学短期大学部の学生を配置した(受講生2名ないし3名に1名配置)。
- ④課題に意欲的に取り組み、事後の記念になるように、作品づくりの課題をプログラムに含めた。
- ⑤同伴者が手持ち無沙汰にならないように、同伴者も一緒に参加できるなど臨機応変に努めた。

当日のスケジュール

プログラム当日の具体的なスケジュールは次の通りである。

- | | |
|-------------|--|
| 17:00－18:00 | 受付(会津大学短期大学部 体育館) (協賛企業による最新機器も展示し、待機中に見学・体験) |
| 18:00－18:10 | 開会式(挨拶、科研費の説明など) |
| 18:10－18:40 | 講義「光の絵を描いたり、光の混色をつくる」 |
| 18:40－18:50 | グループ分け |
| 19:00－19:20 | 実験「光の描画、光の混色」 |
| 19:20－20:10 | グループごと光の絵(ライトアート)を制作 |
| 20:10－20:30 | クッキータイム、フリートーク |
| 20:30－21:00 | 完成したライトアート作品の鑑賞および講評 |
| 21:00－21:10 | アンケートの記入 |
| 21:10－21:30 | 修了式(児童・生徒に未来博士授与) |

実施の様子

次に掲げる写真から窺えるように、参加者は楽しみながら理解していた。



(待ち時間中セグウェイも体験できた)



(協賛企業のハイテクLED自転車も展示)



(挨拶および科研費の説明)



(LEDや紙コップの活用)



(ライトストリークによる光の描画)



(受講生による光の描画)



(回転盤を利用した光の混色)



(光の混色を様々実験など)



(作品の鑑賞および講評)



(一人ずつ未来博士号を授与)

事務局との協力体制

- ・事務局総務係が委託費の管理と支出報告の確認を行った。
- ・事務局総務係が振興会との連絡調整と、提出する書類の確認・修正を行った。

広報活動

- ・会津若松市内全ての小学校および中学校に本プログラム案内(チラシ)を配送した。(小学校19校、中学校11校、総配布枚数5,000枚)
- ・会津地方のフリーペーパーに本プログラムの広告を掲載した。(2回)
- ・本プログラムの実施について地元新聞社2へ情報提供した。結果、新聞2紙に科研費のことも含め記事として掲載・紹介された。

安全配慮

- ・本プログラム申し込みの際し、受講者全員に保護者の承諾を義務付けた。
- ・参加する場合、実施会場までの送迎を保護者に義務付けた。
- ・プログラム実施時間を対象に、受講者全員に傷害保険に加入した。
(実施代表、実施協力者も傷害保険に加入)
- ・当日はあいにく台風が近づいていたので、室内でのみ実施できるよう配慮した。

今後の発展性

- ・今後、より多くの児童・生徒を対象としたプログラム開発に努める所存である。
- ・本学で初めてのプログラム実施だったので、今回は当初ノウハウが無い状態だったが、今後はノウハウを存分に活かしていきたい。

【実施分担者】

なし

【実施協力者】 12 名

【事務担当者】

一條 隼人 事務局 総務係